

# *Ampex*®



SGT-DI  
クイックスタート・ガイド

© 2023 Yamaha Guitar Group, Inc. All rights reserved. (不許複製・禁無断転載)

Ampeg, Ampegロゴ、Heritage, Portaflex, SGT, Super Grit Technology, SGT-DI, SVT, Line 6 また Helix は、Yamaha Guitar Group, Inc.のトレードマークまたは登録商標として米国およびその他の国で登録されています。Mac はApple, Inc.のトレードマークまたは登録商標として米国およびその他の国で登録されています。Windows はMicrosoft Corporation のトレードマークまたは登録商標として米国およびその他の国で登録されています。

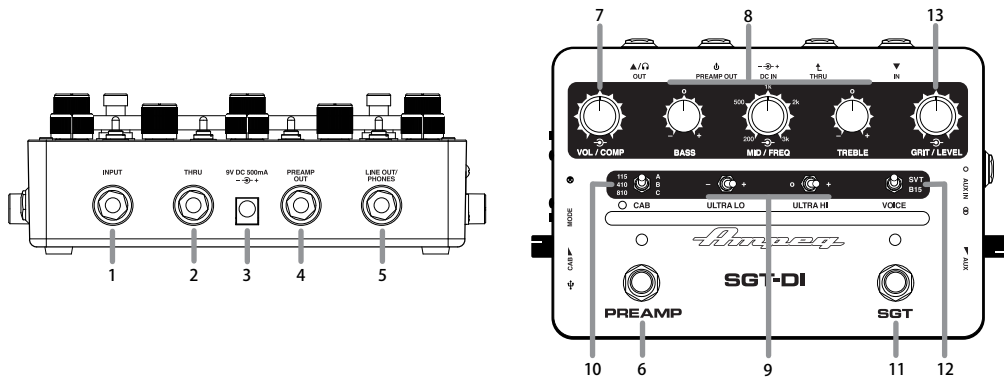
モデルとシリアル番号は、製品ラベルをご確認ください。以下の番号を控えておいてください。また本書は大切に保管してください。

モデル番号: \_\_\_\_\_

シリアル番号: \_\_\_\_\_




## 後部と上部パネル



### 後部と上部の説明

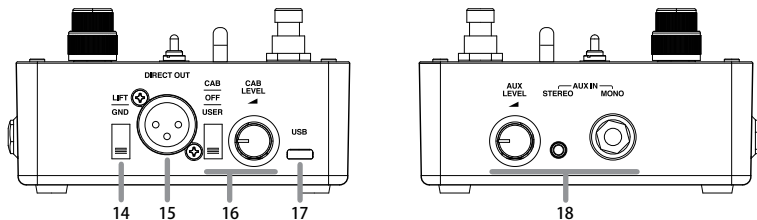
1. **INPUT:** この6.3mm入力用端子に、楽器を接続します。
2. **THRU:** この6.3mm出力は、ドライ信号（インストゥルメント・レベル）を、チューナーやエフェクト・チェーン（パラレル）など外部機器に送信します。
3. **9V DC:** 同梱のAmpeg® 電源を接続します。同梱の電源アダプターは、電源遮断装置として機能します。
4. **PREAMP OUT:** この6.3mmのライン・レベル出力（TS）をアンプに接続します。この出力信号は、コンプレッサー、プリアンプおよびSGT™回路を含んでいます。CAB/USER IR [16]と AUX IN [18]信号は、この出力信号には含まれていません。
5. **LINE OUT/PHONES:** この6.3mmのライン・レベル出力をモノラル（TS）、あるいはステレオ/ヘッドホン出力（TRS）として使用します。この出力は、コンプレッサー、プリアンプ、SGT、CAB/USER IR（有効な場合）、AUX IN信号を含んでいます。
6. **PREAMPフットスイッチおよびLEDインジケータ:** SGT-DIのプリアンプ回路を有効化/バイパスするには、フットスイッチを押します。プリアンプが有効である場合、LEDが青に点灯します。

7. **VOL/COMP操作部およびLEDインジケータ**: プリアンプのボリューム・レベルを調節するには、VOL/COMP操作部の内側のノブを回します。コンプレッサーのスレッシュホールドを調整するには、外側のノブを回します。コンプレッサーのスレッシュホールドがトリガーされた場合、VOL/COMP操作部の右のLEDが黄色に点滅します。VOL/COMPノブはPREAMPフットスイッチ[6]がオンの場合にのみ有効です。
8. **トーンノブ**: これらのノブは、サウンドを増強するために、一部周波数でのレベルをブーストまたはカットするために使用します。BASSとTREBLEノブはセンター位置でフラットになっています。左に回すと、低域あるいは高域をカット、右に回すとブーストします。希望するミッドレンジ周波数(200Hz~3kHz)を選ぶには、MID/FREQ操作部の外側のノブを回してから、内側ノブを回し、ミッドレンジのゲインをブーストまたはカットします。(ゲインは内側ノブのセンター位置でフラットな状態で)
9. **ULTRA LO または ULTRA HI スイッチ**: これらのスイッチは、プリアンプ信号の低音および高音域を形成するために使用します。ULTRA LOはカット(左)、オフ(中心)、ブースト(右)で操作します。ULTRA HIは、オフ(左)、ブースト(右)で操作します。
10. **CABセレクトーおよびLEDインジケータ**: この3ウェイ・スイッチは、Ampegスピーカー・キャブ(LEDが青く点灯)あるいはユーザーIRを選ぶために使用します。LEDライトが赤の場合、クリッピング(プリアンプあるいはポストIRのいずれか)を示しています。レベルを下げクリッピングを防ぐには、LEVELノブを使用します。AmpegキャブまたはユーザーIRを使用するには、左パネルのCAB/USERモード・スイッチ[16]をセットします。CAB/ユーザーIRは、DIRECT OUT [15]とLINE OUT/PHONES [5]にのみ適用されます。
- 115/410/810 – あらかじめ搭載された3つのAmpegキャブから1つを選びます: 115 (Heritage™ B-15), 410 (Heritage SVT-410HLF) あるいは 810 (SVT-810 Squareback)。
  - A/B/C – ユーザーメモリ、BまたはC内のIRのうちの1つを選ぶか、あるいはサードパーティのIR(7ページ、「Ampeg IR Loaderアプリを使用し、ユーザーIRをインポートする」参照)をロードします。

 **注**: クリッピングが生じた場合、キャブLEDライトは赤に点灯します。クリッピングを防ぐには、CAB/USER LEVEL [16]設定あるいは入力信号のレベルを下げます。

11. **SGTフットスイッチおよびLEDインジケータ**: SGT(Super Grit Technology™)回路を有効化/バイパスするには、フットスイッチを押します。SGTが有効の場合、LEDは琥珀色に点灯し、クラシックAmpeg SVT® またはPortaflex® B-15チューブ・スタイル・オーバードライブが信号に適用されます。SGT回路はVOICEスイッチ[12]とGRIT/LEVEL操作部[13]を含んでいます。
12. **VOICEスイッチ**: SGTチューブ・アンプエミュレーションの音色を選ぶには、SVT あるいはB-15にスイッチを切り替えます。
13. **GRIT/LEVEL操作部**: オーバードライブ量を調節するには、GRIT/LEVEL操作部の内側のノブを回します。SGT回路出力レベルを調節するには、外側のノブを回します。GRIT/LEVELノブはSGTフットスイッチ[11]がオンの場合にのみ有効です。

## 左・右のパネル



### 左・右のパネル説明

- 14. GND/LIFTスイッチ:** バランスXLR DIRECT OUT端子[15]の接地接続をliftにするためにこのスイッチを使用し、必要に応じノイズを除去します。
- 15. DIRECT OUT:** このバランスXLR端子は、ミキサー、DAWインタフェース、パワーアンプあるいはその他外部機器と接続するDI出力端子として使用します。この出力はコンプレッサー、プリアンプ、SGT、キャブ/ユーザーIRを伝送します(有効に設定されている場合)。
- 16. CAB/OFF/USERスイッチとLEVELノブ:**
  - Cabモードに切り替えるには、この3ウェイ・スイッチをCABの位置にセットします。工場出荷時より搭載のフル解像度キャビネットIRから希望のタイプを選ぶには、上部パネルのCABスイッチ[10]を使用します。
  - スイッチをUSERの位置にセットすると、ユーザーIRモードになり、ロードされたスピーカー・シミュレーション・ファイルを利用できます。[7ページ](#)、「Ampeg IR Loaderアプリを使用し、ユーザーIRをインポートする」をチェックしてください。
  - スイッチを中央位置にセットすると、CAB/USERモードからOFFに切り替わります。キャブまたはユーザーIRは適用されません。
  - キャブまたはユーザーIRは、DIRECT OUTとLINE/PHONES出力信号にのみ適用されます。
  - キャブまたはユーザーIR信号の出力を調節するにはLEVELノブを回します。レベル設定は、各キャブあるいはユーザーIRで自動的に個別に保存されます。\* 使用していない間は、ノブを押し込んで収納しておきます。



**\*注:** キャブまたはユーザーIRレベルを、低い値の状態から高い値の状態に変更した場合、著しいボリューム出力増加が生じるおそれがあることにご注意ください。

17. **USB:** Ampeg IR Loaderアプリケーションや将来的なファームウェア・アップデートで使用するため、このUSB-C端子からMac あるいはWindows<sup>®</sup>コンピュータのUSBポートへ接続します。

18. **AUX INコネクタとAUXレベル:**

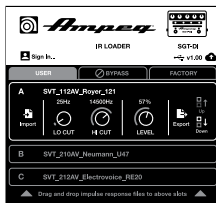
アナログ、STEREO入力(3.5mm)には、ステレオ音源(MP3プレーヤー、携帯デバイスなど)を接続します。あるいは、アナログ MONO(TS、6.3mm)入力に、別のベースギターあるいはその他オーディオ音源(ドラムマシン、メトロノームなど)を接続します。

AUX LEVELノブを回して、AUX入力のレベルをコントロールします。AUX入力信号はプリアンプ、SGTまたはキャブの回路に影響されず、LINE OUT/PHONES出力[5]のみにルーティングされます。使用していない間は、ノブを押し込んで収納しておきます。

## はじめに

1. 同梱の「安全上のご注意」をよくお読みください。
2. すべての機器の電源スイッチをオフにしてから、接続を行なってください。VOLUMEとLEVEL操作までの接続をすべて確認します。
3. 同梱の電源を接続します。
4. 楽器を、INPUT端子に6.3mm楽器用ケーブル(シールド)で接続します。
5. 演奏しながらVOLUMEとLEVELノブを適切な設定に調節します。
6. トーン・ノブとスイッチを調整します。


## Ampeg IR Loaderアプリを使用し、ユーザーIRをインポートする




Mac および Windows 用の無料の Ampeg IR Loader アプリケーションを利用することによって SGT-DI デバイスのインパルス・レスポンス (IR) をインポートおよび管理したり、今後のファームウェアの更新を行うことが可能です。

<https://ampeg.com/software/>にアクセスの上、ダウンロードしてください。

Ampeg SGT-DIIは、3つのAmpeg工場出荷時IR-キャブの代わりとして使用できる、ユーザー自身のIRファイル3つを保存できます。始めるときは、これらの3つのUSER位置へプリロードされたIRを使用するか、あるいは、Ampeg IR Loaderを使用して、いつでも自分のIRファイルをインポートできます。SGT-DIIは、実際にサード・パーティー製のほぼあらゆるサンプル・レートおよびビット・レートの.wavファイルをサポートします(IRファイルはインポート時に48kHz/32ビット/モノラル/2048解像度に自動的に変換されます)\*。

 **ヒント:** ブログが作成した Line 6<sup>®</sup> Helix<sup>®</sup> Marketplace IR もサポートされています! <https://line6.com/marketplace/>にアクセスしてください。

SGT-DIをコンピューターのUSBポートに接続し、Ampeg IR Loaderアプリを起動して、次のタスクを開始します：

- IR Loaderアプリ・ウィンドウ内で、**USER**タブをクリックし3つのユーザーIRにアクセスしてから、**A**、**B**あるいは**C**メモリをクリックして、オプションにアクセスできます。
- Import**をクリックし、wavファイルが格納されているコンピューター上のフォルダーを開き、IRを選択し、インポートします。あるいは、IR LoaderアプリのIRメモリに、コンピューターのフォルダーからのwavファイルを直接ドラッグ&ドロップすることができます。
- LO CUT**、**HI CUT**と**LEVEL**を調節します。各IRの設定は自動的に保存されます。
- IRデータを削除するときは、**Clear**ボタンをクリックします。
- スロットのwavファイルのコピーをコンピューターに保存するには、**Export**をクリックします。
- スロットの右の**Up**と**Down**ボタンを押すと、**A**、**B**と**C**メモリを並べ替えることができます。
- IRの有効/バイパスを切り替えるには**BYPASS**タブをクリックします。
- FACTORY**タブをクリックして3つのAmpeg工場出荷時キャビネットIRにアクセス、次に、**115**、**410**または**810**キャブ・スロットをクリックして、各キャブの**LO CUT**、**HI CUT**と**LEVEL**を編集します。設定は自動的に保存されます。
- FIRMWARE UPDATER**  ボタンをクリックして、デバイスで利用可能なファームウェアアップデートを確認してインストールします。

 ヒント: SGT-DIデバイスとIR Loaderアプリケーション詳細は**Ampeg SGT-DI**オーナーズ・マニュアルを参照してください。(<https://ampeg.com/support/manuals>)

## 技術仕様

SGT-DI	
S/N比	LINE OUT/PHONES: 106dB (20Hz~20kHz Aウェイト, プリアンプとSGT無効時)
最大ゲイン	PREAMP OUT: 57dB (@1kHz, EQフラット, プリアンプとSGT有効, 最大GRIT, 最大VOLUME)
	LINE OUT/PHONES: 57dB (@1kHz, EQフラット, プリアンプとSGT有効, 最大GRIT, 最大VOLUME, CABモード無効)
	DIRECT OUT: 37dB (@1kHz, EQフラット, プリアンプとSGT有効, 最大GRIT, 最大VOLUME, CABモード無効)
電源	外部: 9V DC @500mA センターマイナス (同梱のアダプターを使用)
寸法 (縦 x 幅 x 奥行き)	65 x 189 x 126mm (側面ノブ収納時、ゴム脚含まず)
	65 x 201 x 126mm (側面ノブ未収納時、ゴム脚含まず)
重量	0.85kg

すべての仕様は変更される場合があります。





## 保証とサポート

[www.ampeg.com](http://www.ampeg.com)へアクセスしてください。

- (1) お客様が製品を購入した地域で受けることのできる**保証**内容について確認することができます。購入した際のレシートは大切に保管してください。
- (2) 購入された製品の**オーナーズ・マニュアル**の完全版(英語版)を取得し、印刷することも可能です。
- (3) 購入された製品を**登録**することができます。
- (4) テクニカルサポートへ**問い合わせ**することができます。

## ご購入・お取扱いに関するお問い合わせ窓口

ヤマハミュージックジャパンお客様コミュニケーションセンター

ギター・ドラムご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570-056-808

上記番号でつながらない場合は053-533-5003におかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メールWebフォーム:

ヤマハ日本語HPホーム > サポート > お問い合わせ > 楽器お問い合わせ > ギター・ベース・ドラム

## 修理に関するお問い合わせ窓口

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570-012-808

上記番号でつながらない場合は053-460-4830におかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メールWebフォーム:

ヤマハ日本語HPホーム > サポート > 修理相談 > その他商品 (BODiBEAT、TENORI-ON等 電気音響商品)

## 輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

LM営業部 輸入マーケティング課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03-5488-6195

[www.ampeg.com](http://www.ampeg.com)

Yamaha Guitar Group, Inc.

26580 Agoura Road, Calabasas, CA 91302-1921 USA

Part No. 40-00-0596 Rev. D

